

新高通信



第 27 号

秋田県立新屋高等学校

新年度のスタートにあたって

校長 高安 暢

平成 24 年度もスタートして 2 ヶ月近く経ちました。

今は、全県総体や全県大会にむけて、各部とも最終調整の段階だと思います。東北大会や全国大会への出場権を一つでも多く獲得するよう、選手諸君の健闘を期待します。

さて、新屋高校の学校理念を、昨年度と同じく次の 2 点としております。

1) 生徒のために精一杯まごころを尽くすこと。

2) 生徒が自分の進路希望を叶えることができる学校を目指すこと。

昨年度以上にこの理念が徹底され、より一層の成果が上がるよう職員一同取り組んでいく所存です。

また今年度は、平成 26 年度に学校創立 30 周年を迎えるにあたって、新屋高校の新たな展望を切り開く準備にも本格的に取り組まなければいけない年だとも思います。関係各位の御理解と御支援を仰ぎながら、諸事業の推進にあたりたいと思います。今年度もよろしくお願いたします。



201 名の新しい仲間たち～入学式挙行～

4 月 6 日 (金) 午後 1 時 30 分より、本校第一体育館において第 29 回入学式が挙行されました。新入生 201 名の入学許可のあと、「夢の実現に向け主体的に学習し、夢中になれるものを見つけ、本当の友人を作ってほしい」との校長式辞がありました。

E 組佐々木麻生さんからは、「学習・部活動に力を入れるとともに、地域活動に積極的に参加したい」と誓いの言葉が述べられ、201 名は晴れて新高生の仲間入りとなりました。



P T A 総会・学校後援会総会開催される

4 月 25 日 (水) 午後 3 時より、P T A 総会及び学校後援会総会が開催されました。

これに先立って行われた授業参観・吹奏楽部演奏会では、日頃の学習活動の一端を多くの方々に見ていただきました。特に 1 年生の教室では、授業を参観する保護者の姿が多く見られました。また、吹奏楽部演奏会では、大河ドラマ「平清盛」のテーマ・ディープパープルメドレー等に、アンコールの大きな拍手が送られました。

P T A 総会・学校後援会総会とも、昨年度決算・今年度事業計画並びに予算の各案承認の後、新役員が選出されて今年の活動を開始しました。



生徒指導の基本方針 生徒指導主事 川村 寿紀

自律的態度と基本的生活習慣の確立を目的とし、生徒 1 人ひとりが新屋高校の生徒としての誇りと自覚を持ち、節度ある行動をすることを身につけさせるために

① マナー集会の実践

② 正しい制服の着用の徹底

③ 携帯電話に伴う非行・事故の未然防止と問題行動発生時の適切な対応

④ 地域社会との密接な連携を取った生徒指導

といった 4 つの項目を具体的指導として力を入れていきたいと思っております。

御理解と御協力をお願いいたします。

7月6日(金)・7日(土)新高祭が行われます!

今年のテーマは「forever～記憶に残る最高の瞬間を今～」。テーマ曲「Ultra soul」(B'z)のもと、盛大に開祭します。是非、お誘い合わせの上お越しください。

「目標を持ち、努力しよう」 進路指導主事 石井 啓之

4月に実施した進路志望調査の結果がまとまりました。各学年とも、国公立大学をはじめ進学を希望する生徒が多く、就職では3年生に公務員志望者が多いこと、また、進路志望未定者が多いことや、大まかに進学したい校種（4年制大学、短大、専門学校など）は決めていても具体的に学びたい分野（学部・学科）が明確でない生徒も少なくないことなどが覗えます。

日々の学習や部活動など目の前のことに追われて、将来のことをじっくり考える時間がなかなか取れていないのかもしれませんが、進路実現のための最初の一步は将来の職業も含めた具体的な目標を持つことです。目標のまだ明確でない生徒は、1、2年生からでもオープンキャンパスに出かけたり、親戚や知り合いの大人から職業に関して話を聞くなど、自らアクションを起こしてほしいと思います。保護者の皆様におかれましても、御家庭で本人と進路についてじっくり話し合われるようお願いいたします。その際、本人の希望だけでなく、適性や能力、経済的条件、就職の現状、社会情勢など本人の気づかないことにも踏み込んで道筋を示していただきたいと思います。

少子化が進む中、社会のあらゆる場で後継者が求められています。同時に経済状況が厳しい中、目標に向かってしっかり頑張れる若者を選ぶ傾向が一層強まっています。進路実現のためには、粘り強く努力を継続することが欠かせません。入学試験、就職試験はいずれも厳しく、第一志望に合格できる生徒は例年必ずしも多くはありません。生徒の皆さんは、家庭学習のあり方、補習や模試への参加、週末課題への取り組み、進路情報の収集など自らの活動を改めて振り返り、改善を図ってください。

4月進路志望	合計	国公立大	私大	短大	専門学校	進学未定	民間	公務員	就職未定	全く未定
1年生	202	70	7	10	42	54	2	1	6	10
2年生	197	68	20	11	40	27	12	4	5	10
3年生	197	63	43	16	48	8	8	11	0	0

ようこそ先輩！ 百三段講演会

5月1日（火）午後2時より、元石巻赤十字病院・リンパ浮腫セラピストの大塚弓子氏を講師にお迎えして、百三段講演会が開催されました。大塚氏は本校卒業生であり、自身の苦境を見事克服した経験を著書とする等、幅広く活躍中です。

「夢を諦めない」「自分を信じる」等、生徒にとって心温まる励ましの言葉に満ちた講演でした。また、氏の大震災での実体験を聴講した生徒たちは、日ごろの備えの大切さを肝に銘じていました。

【生徒の感想】一部抜粋

◎一番印象深かったのが「言わないで諦めるより、言って諦めた方がいい」である。私にも将来なりたい夢がある。それに向けて、この言葉を思い出しながら頑張っていきたいと思う。（3年）



吹奏楽部フレッシュコンサート



5月12日午後1時30分より、秋田県民会館において第22回フレッシュコンサートが行われました。

第1部クラシックステージ、第2部音楽劇「竹取物語」、第3部ポップスステージという3部構成のコンサートは、歌あり、劇ありの楽しいステージ。特に第2部「竹取物語」で、かぐや姫が月の世界に帰った本当の理由（？）が明かされると、聴衆から拍手が沸き起こりました。美しい音色に心洗われる午後のひとときでした。

各部の活躍

バドミントン：国体記念春季高校バドミントン選手権大会

女子シングルス 第3位 佐藤結花

：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
女子学校対抗 第3位

：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
女子シングルス 第2位 佐藤結花

：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
女子ダブルス第3位 夏井美咲・佐藤結花

剣道：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体

男子団体 第3位

弓道：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体

男子個人 第2位 加藤佳史

サッカー：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体第2位
男子バレー：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体第4位

女子テニス：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
女子学校対抗 第2位

：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
女子シングルス 第2位 能登千晴

：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体

女子ダブルス第2位 能登千晴・丸山めぐみ

女子バスケット：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
第3位